

『一億人の英文法』 part3 chapter2 形容詞 pp.231-245

◆形容詞とは：名詞を修飾する表現のこと

- (1)前から・・・限定ルール
- (2)後ろから・・・説明ルール
- (3)なんでも・・・形容詞以外でも OK

**SECTION 1** 前から限定

(1)Look at the ( ) <b>girl</b> over there. (あそこのかわいい女の子、見てごらん)
(2)Naomi is a ( ) ( ) ( ) <b>student</b> . (直美は賢いけど怠け者の学生だよ)
(3)Look at that ( ) ( ) <b>top</b> . (あの綺麗な絹の上着見てみなよ)

- (1)ただの女の子ではなく、かわいい女の子だと**限定**している
- (2)形容詞は接続詞を使ったりして、重ねて修飾することができる
- (3)形容詞を接続詞なしでそのまま重ねるケース(名詞への「近しさ」に基づく)

限定詞	形容詞					名詞
	感想・評価	大きさ	新旧	色	材料・所属	
a	gorgeous		young	blond	Swedish	girl
my	comfortable		old		leather	armchair
this		big		yellow		bird

Ex. I have a ( ) **daughter**. (限定型)

←数値を含む語が前から修飾するとき、複数の-s が落ちる

My **daughter is 5 years old**. (説明型)

(僕には 5 歳の娘がいます)

**SECTION 2** 後ろから説明

(1) <b>She is</b> ( ) ( ) ( ). (彼女はキレイで親切です)
(2)I've tried <b>everything</b> ( ). (できることはぜんぶやったよ)

- (1)be 動詞文
- (2)be 動詞文以外の場合。「足りない」という意識から説明

★前から専門・後ろから専門

・ほとんどの動詞がどちらの位置もとる中、どちらか専門のものが中にはある…

【前から】

This is my ( ) son. …×My son is ( ).

→限定の意味を持った単語、ほかにも main, mere, chief, former など

【後ろから】

I'm ( ) of spiders. …×the ( ) girl

→説明に特化した単語、ほかにも asleep, alive, awake, alone など

★前位置特有の意味を持つ語

My ( ) grandfather. (私の亡くなった祖父)

I was ( ) for the class. (授業に遅刻した)

→ほかにも present(現在の), old(昔からの), certain(ある、一定の)などがある

### SECTION 3 なんでも形容詞

(1) We have to do everything to prevent ( ) abuse.

(児童虐待を防ぐために我々はあらゆることをしなくてはならない)

(2) There are many ( ) countries.

(英語を話す国々はたくさんある)

(3) ( ) English is sometimes different from ( ) English.

(英語の書き言葉は話し言葉と時々異なる)

(4) That game was really ( ).

(本当にわくわくするような試合だった)

(5) I was really ( ) watching that game

(試合見ながらほんとにわくわくしたよ)

(1) 名詞でも、abuse の前におけば虐待の種類を限定する

→「形容詞」という機能は、名詞の前後という位置によって与えられる

(2) -ing 形は「～している」という躍動的状況を想起させる形。本物の形容詞とは違って、がちやがちやしやべっている感触がある

(3) 過去分詞形は「受動(～される)」。Write(書く)から written(書かれた英語)というニュアンスがある

※過去分詞系は受動が主であるが、まれに完了の意味で用いられる

→fallen leaves (落ち葉)

(4)(5) -ing 形は感情を呼び起こす原因、過去分詞形は感情を呼び起こされた人について用いる。

→他にも surprise, satisfy, worry, disappoint など同じように感情を表すことができる